



②



⑤



③



⑥



④



①

## 最高の消防技術を披露

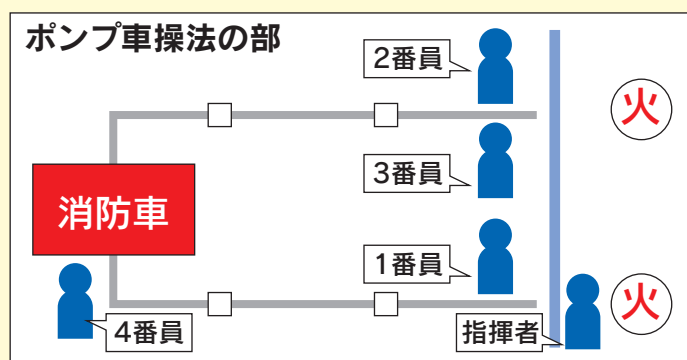
消防団の技術向上と士気の高揚を図ることを目的に、芝山町消防ポンプ操法大会が7月31日に開催されました。当日は朝から時折雨が降る最悪のコンディションでしたが、ポンプ車操法の部に6隊、小型ポンプの部に11隊が出場しました。

開会式では、小川消防団長や相川町長から「訓練の成果を發揮して、優勝を目指してほしい」と激励の言葉が贈られました。その後、第8分団自動車部の寺内大介さんが、「日頃の練習成果を遺憾なく発揮し、今まで練習に協力していただいた家族、友人、地域の方々のため、最後まで全力で演技を行うことを誓います」と選手宣誓を行いました。

大会に出場する隊は、平日の夜や休日を返上して訓練し、技術と精神を磨いてきました。当日は部の仲間や家族が見守る中、各隊とも魂のこもった見事な演技を披露。ハイレベルな戦いが繰り広げられましたが、大会を制したのは第4分団自動車部（ポンプ車操法の部）と第2分団第5部（小型ポンプ操法

## 消防操法とは？

消防操法は、実際の火事現場を想定し、ポンプ車または小型ポンプからホースをつないで放水し、火点を倒すまでのタイムを競います。また、指揮者以下それぞれの番員にホース延長や放水、ポンプ操作などの役割が細かく決められていて、操作の正確性や安全性、規律などが審査の対象となります。





# 大会成績

## 団体の部

### ポンプ車操法の部

**優勝 第4分団自動車部**



### インタビュー

本番では順位のこと考えず、とにかく一生懸命に演技をしました。それが良かったのか、今までで一番良いタイムが出ましたね。指揮者が先輩、その他の4人が同級生という組み合わせも団結力を高めるのに功を奏したのかもしれませんが。

## 小型ポンプ操法の部

**優勝 第2分団第5部**



### インタビュー

プレッシャーの中、負けられないという強い思いを持って本番に臨み、訓練どおりにできたことが、優勝につながったのだと思います。部と分団の方々、そして指導員にお礼を言いたいです。

## 個人の部

### ポンプ車操法の部

最優秀指揮者	第1分団自動車部	内田 真吾
最優秀1番員	第1分団自動車部	石橋 佑介
最優秀2番員	第1分団自動車部	川野 遼
最優秀3番員	第4分団自動車部	土井 修一
最優秀4番員	第1分団自動車部	大木 博徳

### 小型ポンプ操法の部

最優秀指揮者	第2分団第5部	小山 真吾
最優秀1番員	第3分団第8部・第9部	小川大治郎
最優秀2番員	第2分団第5部	鈴木 辰也
最優秀3番員	第2分団第5部	森田 優樹

※第3分団第8部と第9部は合同で出場



- ①火点めがけて放水
- ②水圧の操作は慎重かつ迅速に
- ③2・3番員で吸管をポンプに取り付ける
- ④本番前に先輩から最後のアドバイス
- ⑤吸管のロープの取り付け方にも細心の注意を払う
- ⑥演技が終わるたび大きな拍手が起こる
- ⑦寺内大介さんによる選手宣誓
- ⑧「放水やめ」の合図で放水を止める
- ⑨ホースの展張はきれいに真っ直ぐに
- ⑩1秒でも早く火点へ

の部)でした。特にポンプ車操法の部は、第1分団自動車部と総合得点が143.5点で同点だったため、タイムで上回った第4分団自動車部が勝利を手にした。

